

白井歴史散歩

平安の世から 転変をくり返し、現在へ

平安時代、千葉介常兼の三男である六郎常康が白井氏を名乗り、領主として墾田治水を行ったことで、白井は下総白井荘として栄えました。鎌倉時代には、前期白井氏は執権北条時頼に敗れて没落しますが、室町時代(1338年)に白井興胤が後期白井氏として再興します。戦国時代に入ると、白井でも多くの戦いが繰り広げられ、白井氏は同族原氏により滅亡。1590年、豊臣秀吉による小田原城攻めで後北条氏方の千葉氏一族も滅亡し、白井城も陥落しました。徳川家康が関東に入国した際、その家臣である酒井家次が白井城主となり、酒井氏が上州高崎に転封されると廃城となり、白井は徳川幕府直轄の天領となりました。約100年後、佐倉藩に組み込まれ、政治の中心は佐倉に移りました。江戸中期以降「成田山詣」が盛んになると、白井は風光明媚な宿場町として栄えましたが、1897年に総武鉄道が成田まで開通したことでその役割を終え、大正・昭和の戦前戦中へ続く衰退期を迎えます。昭和40年代の高度成長期には白井でも大規模土地区画整理事業が進められ、現在は佐倉の主要都市として、近代的な街並みと歴史的要素、そして緑と水に恵まれた街として、更なる発展が期待されています。



白井城址公園

14世紀中頃、かつて下総地方を支配した千葉氏の支族である白井氏が城を構えた跡地です。当時の城郭の位置からは印旛沼が一望でき、かつての城主が眺めた風景が伺えます。現在は公園として、佐倉の自然と歴史にふれあう憩いの場として利用されています。



太田図書
の墓



謙信
一夜城跡



雷電碑



白井・王子台商店会は 佐倉市民憲章を推奨します

佐倉市民憲章

わたしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。全市民は、力を合わせてこの憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

1. 私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。

1. 私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。

1. 私たちは、歴史や自然を大切にし、おくゆかしいまちをつくりましょう。

1. 私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。

1. 私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。

(昭和45年12月23日制定)

INFORMATION

(市外局番／043)

白井・王子台周辺の公共施設／機関等の連絡先です

佐倉市役所	佐倉市海隣寺町97	484-1111
佐倉商工会議所	佐倉市表町3-3-10	486-2331
佐倉市観光協会	佐倉市栄町8-7	486-6000
佐倉ふるさと広場	佐倉市白井田2714	486-8898
佐倉警察署	佐倉市表町3-17-1	484-0110
白井交番	佐倉市王子台4-1-16	487-5510
佐倉市白井情報コーナー	佐倉市王子台3-30-4	461-8115
佐倉消防署白井出張所	佐倉市染井野3-1-5	488-0119
佐倉市民音楽ホール	佐倉市王子台1-16	461-6221
千代田・染井野ふれあいセンター	佐倉市染井野3-3-7	464-0072



白井・王子台商店会

